

写真展で群島の魅力発信

観光大使の山中さん、東京で

鳥越氏と対談、島唄も

観光大使で横浜在住の写真家山中さんとの写真展「奄美 100歳の女神」が18日から1日間、東京のファンケル銀座スクエアで開かれた。奄美の長寿者の写真を中心に歴手の里アンナさんの島唄ライブ、ジャーナリスト鳥越俊太郎さんとの対談など深みのあるステージで感動を呼んだ。

会場には、山中さんが2000年から撮り続けている奄美群島の長寿者の写真やヒョオを用意。大島紬の染色で知られる橋本真智子さん、書道の栗津紅花さんも出展。作品を鑑賞した。徳之島に自生するミカンを絞ったジュースも振る舞われた。里アンナさんは初日ライブをうけ、透き通った声で島唄を響かせた。最終日には

「輝くいのちの対談で鳥越俊太郎さんが出演。生き方ファッション、奄美の長寿者などについて山中さんと対談した。観客からは「声が奇せられた。奄美の写真を中心に据えながら、さまざまアーティストとのコラボレーションで奄美を掘り下げ、見る、聞く、味わうステージ」をつくり出した独自の

手法。山中さんは「手間暇のかかる面倒なやり方だが、面倒を引き受ける中からしか生まれてこない創造やつな

がりがある。な発信の仕えれないよる」と話



鳥越俊太郎さんと対談へ上、里アンナさんのライブもあった山中順子写真展

